



2018年1月18日
パイオニア株式会社
株式会社みちのりホールディングス
茨城交通株式会社

パイオニアとみちのりホールディングス、茨城交通の3社 路線バスの自動運転化の技術開発に向けた実証実験を開始

パイオニア株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役 兼 社長執行役員:小谷 進、以下、「パイオニア」)と株式会社みちのりホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松本 順、以下、「みちのりHD」)、茨城交通株式会社(本社:茨城県水戸市、代表取締役社長:任田正史、以下、「茨城交通」)の3社は、路線バスの自動運転の実現に向けた実証実験を、1月より茨城県常陸太田市内で行います。

この実証実験は、昨年の8月にパイオニアとみちのりHDが実施について合意したもので、実際にお客様が乗車される路線バスを利用して行います。将来的な路線バスの自動運転化に向けて、リアルな運行情報を収集・解析し、スムーズかつ安心・安全な自動運転を実現する技術の研究・開発につなげることを目的としています。

複数のバス会社を保有し、路線バスの運行ノウハウを持つみちのりグループと、カーナビゲーションで培った高い自車位置推定技術や、自動運転に必要とされる走行空間センサー「3D-LiDAR」、自動運転用地図などの開発を進めるパイオニアは、それぞれの強みと知見を持ち寄り、将来の自動運転社会の実現に向けて研究・開発を進めてまいります。

【実証実験の概要】

- 期間 :2018年1月から半年間程度(不定期に実施)
対象バス会社 :茨城交通(みちのりグループ)
場所 :茨城県常陸太田市 市街地循環線ルート
実験内容 :熟練バス運転手が運行する路線バスの走行環境および車内状況を撮影し、その解析と評価を通じて、よりスムーズで安心・安全な自動走行バスを実現するためのデータおよびノウハウを収集・蓄積します*。

【実証実験での使用車両】



【実証実験の走行ルート】



※本実証実験での、路線バスの走行環境および車内状況の撮影・解析は、技術研究・開発を目的としたものであり、通行中・乗車中の方を特定するものではありません。また、取得した画像データは前記の技術研究・開発のためにのみ、各々のグループ会社内において使用し、これに必要な範囲を超えて第三者への開示・提供は行いません。

【パイオニア株式会社の概要】

カーエレクトロニクス事業を主軸にグローバルで事業を展開。安心・安全で快適なドライブを実現するさまざまな車載機器やサービスを開発・提供するとともに、自動運転社会に向けて走行空間センサー「3D-LiDAR」や自動運転用地図の開発および、それらを用いて自動運転用地図を効率的に更新・配信する「データエコシステム」の構築・提案を行っています。

【株式会社みちのりホールディングスの概要】

東北、北関東エリアで約 2,300 台のバスを運営。広域にわたる複数の交通・観光事業会社の持株会社。傘下に岩手県北バス、福島交通、会津バス、関東自動車(栃木)、東野交通、茨城交通、日立電鉄交通サービス、湘南モノレールの 8 つの交通・観光事業グループを有しています。

【茨城交通株式会社の概要】

茨城県水戸市を中心に、県央、県北の 7 市 5 町村にわたり路線バスを運行。路線バスでの公共交通機関としての実績を活かし、各自治体のコミュニティバス、福祉バスのほか、観光周遊バスや常磐自動車道、東関東自動車道、北関東自動車道を路線とした高速バスも運行しています。

< 本件に関する報道関係のお問い合わせ先 >

パイオニア株式会社 I R・広報部 広報課 木村 TEL: 03-6634-9487

株式会社みちのりホールディングス 広報担当 工代(くだい) TEL: 03-6250-1075

茨城交通株式会社 安全管理課 長島 TEL: 029-251-2129